

## 真田丸に学ぶ生き残り戦略



現業協議会では、10月15日から16日にかけて上田市にて現業交流討論集会を開催しました。高柳書記長のあいさつの後、森泉現業議長による労働組合の基礎知識・情勢報告がありました。その後講演「真田丸に学ぶ・生き残り戦略」があり、今話題の大河ドラマ「真田丸」を題材にした真田家の興亡について学びました。「真田家は生き残りをかけて厳しい選択をし、多くの諸大名が滅びる中で明治維新まで生き残りました。組合も現状に甘んじていては衰退していく、常に生き残りをかけて闘う意思がなければならぬ。交渉が出来ない組合は、滅びていくのも当然である。」という森泉議長の厳しい言葉が印象的でした。講演の後は自治研的な野外研修として実際に上田城や真田丸展の現地学習をし、それぞれレポート提出をし集会を終えました。

一般参加の方が解散した後、第5回委員会・第5回常任幹事会を行い10月28日の現業回答交渉に向けた打ち合わせを行いました。

一般参加の方が解散した後、第5回委員会・第5回常任幹事会を行い10月28日の現業回答交渉に向けた打ち合わせを行いました。

### 提出された集会レポートの意見等の抜粋

- ・話が分かりやすく興味深く聞けました。
- ・企画は良いが人が集まらぬと団結力は弱くなる。
- ・組合や現業の活動が、何のために行っているのか今回の講演を聞いてはつきり理解できました。また、真田丸等歴史上において昔の人々から学べるものは多くあり、彼らのような芯を持った行動をして生きたいと思えます。
- ・自分の人生のビジョンを真田の戦略のように道筋をたてたいと思った。時間外労働するからには超過勤務時間をしっかりつけたいと思う。
- ・現業協議会による交流討論集会であったが、現業でない組合員が参加できることは県職労の取り組みを伝えるため、また特に若手職員が興味を持てる大変有意義なものであると思う。